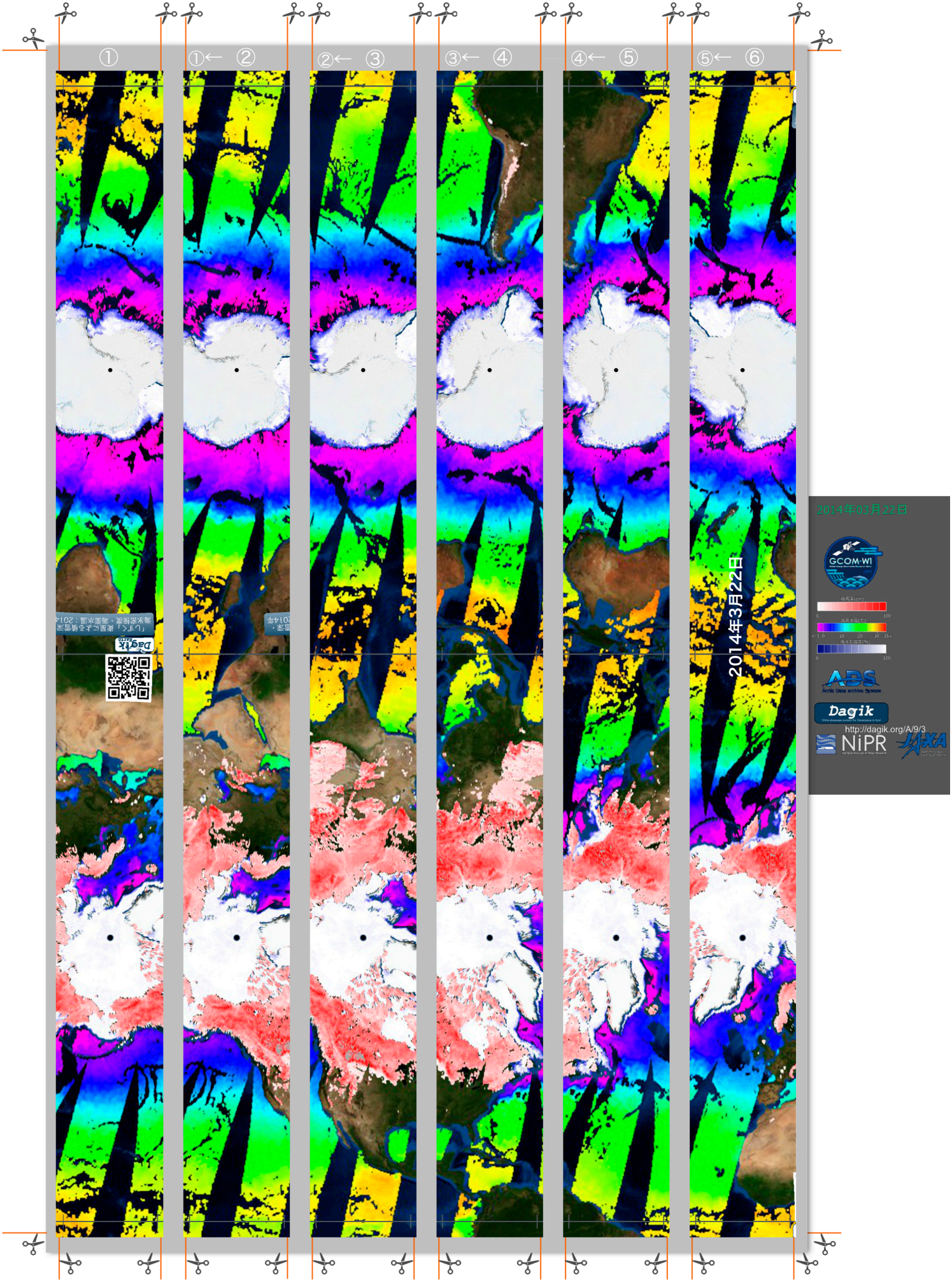

①
①← ②
②← ③
③← ④
④← ⑤
⑤← ⑥
2014年03月22日
2014年3月22日
GCOM-W1
ADS
Dagik
http://dagik.org/A/9/3
NiPR
JAXA

http://earth.dagik.org

「しずく」衛星による積雪深・海氷密接度・海面水温：2014年3月22日

水循環変動観測衛星「しずく」（GCOM-W）に搭載の高性能マイクロ波放射計2（AMSR2）による観測で得られたデータです。陸上の積雪の深さ、海氷がある海域の海氷の密接度、海面の水温の3つのデータを示しています。

コンテンツ作成: 国立極地研究所北極観測センター 北極域データアーカイブ (ADS)：
https://ads.nipr.ac.jp/ja/
ADSによるダジック・アース・コンテンツ： https://ads.nipr.ac.jp/node/dagik.new/list.html
データ: 水循環変動観測衛星「しずく」（GCOM-W）に搭載の
高性能マイクロ波放射計2（AMSR2）による観測データ
データ提供: 宇宙航空研究開発機構（JAXA)

コンテンツ説明： http://dagik.org/A/9/3

手作り地球儀のつくり方：帯型シート（直径 7.5cm）

準備するもの
- 直径 7.5cm の球（ガチャガチャカプセルや発泡スチロール球など）
- 印刷する紙　（再剥離タイプのノーカットラベルシートがお勧め）
- カラープリンター（インクジェット式の方が色が剥がれずにきれいに作れます）
- カッターと定規　（あるいはハサミでも）
- スプーンなど硬いもの（貼り付けた後で、シワを伸ばすのに使います）

必要に応じて：
- のり　（ラベルシートではなく普通紙に印刷する場合は必要）
- 磁石や重り（ガチャガチャカプセルの場合はカプセルの中に磁石や重りを入れられます．発泡スチロール球の場合は、穴を開けて埋め込むことができます．）

（印刷する）

（1）拡大縮小をせずに 100% のサイズで印刷します．（画像が印刷されている帯の両端付近の線の間の長さが 23.5cm くらいに印刷されます．）

（切る）

（2）オレンジの線（灰色と画像の境界ではなく）でまっすぐに切り取り、6 本の帯にします．

（貼る）

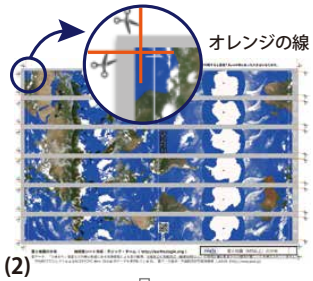
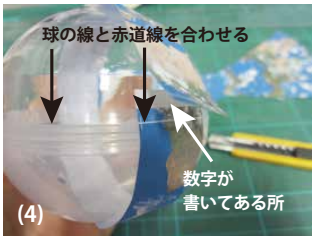
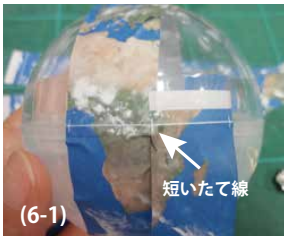
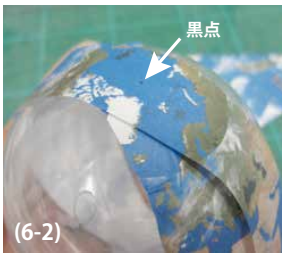
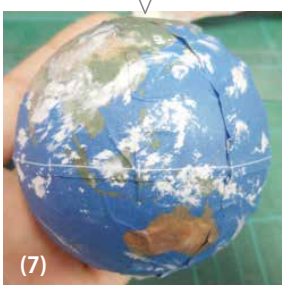
（3）数字の順番に貼ります、まずは①の帯を貼りましょう．

（4）カプセル球の線と、型紙の赤道の線を合わせて貼ります．数字が書いてある所を下に重ねるよう、南極等の・マーク（黒点）も目印にしながら貼ります．

（5）球を両手で軽く握り、紙①をなじませます．

（6）次の②の帯を①の右側に貼ります．向きに注意してください．少しずつ重なるようになっていますので、赤道の短いたて線マーク ⊣⊢ を重ねてください．

（7）あとは同じように繰り返し、線や画像ができるだけずれないように重ねて貼り合わせましょう．

（シワを伸ばす）

（8）貼り付けた帯がよれて、シワになっている部分を、スプーンの背中（丸い方）でこすって伸ばし、平らにしてください．全ての帯を貼ってからこすっても良いですし、1 枚の帯を貼るごとにこすっても良いです．